

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会
2018年度第3回(通算第51回)理事会 議事録(案)

1. 開催日時: 2018(平成30)年10月28日(日) 11:00~11:57

2. 場 所: 「加瀬の貸会議室」 2階 第3会議室(横浜市港北区新横浜3-19-11 加瀬ビル88)

3. 審議事項および資料

第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について

第2号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)

第3号議案(専権等の報告) 2018年度第2回業務執行報告(総務系)

第4号議案(専権等の報告) 2018年度第2回業務執行報告(事業系)

第5号議案(専権等の報告) 10/27理事会前日会議の報告

第6号議案(専権等の報告) 災害対策委員会の委員構成の変更について

第7号議案(専権等の報告) 第8回全国頸髄損傷者連絡会・一般社団法人日本リハビリテーション工学協会合同シンポジウム開催について

第8号議案(決議) 全国頸髄損傷者連絡会と協働による頸損解体新書2020(仮)の作成について

第9号議案(決議) 災害対策委員会の期間延長について

4. 理事総数 14名

出席理事数 14名

会長(代表理事) 沖川悦三

理事 石濱裕規、江原喜人、岡野善記、桂律也、金井謙介、剣持 悟、杉本昌子、鈴木太、
中村俊哉、二瓶美里、麩澤孝、水澤二郎、山形茂生

監事 相川孝訓、赤澤康史

事務局 深野栄子

欠席理事 なし

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 定款第49条に基づき、議長となる会長の沖川悦三が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。

(2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の江原喜人と岡野善記の2名を選出した。

第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について

沖川会長より、2018年度第1回(通算第49回)理事会以降に専権事項とした2018年7月21日-2018年8月28日、2018年8月29日-2018年10月19日の計3名(2018年度正会員3名)の入会が報告され、追認で承認された。

承認13、非承認0(会長除く)

第2号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)

沖川会長より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼について報告され、追認で承認された。

承認13、非承認0(会長除く)

- ・ 2018/07/21 後援 一般社団法人ナンフェスさまより「ウォーク&ランフェスタ2018」(2018/9/17)
- ・ 2018/08/06 協賛 感覚代行研究会さまより「第44回(2018年)感覚代行シンポジウム」(2018/12/3~4)
- ・ 2018/08/06 後援 特定非営利活動法人日本シーティング・コンサルタント協会さまより「第14回日本シーティング・シンポジウム」(2018/11/17~18)
- ・ 2018/09/04 後援 NPO法人ケアリフォームシステム研究会さまより「ケアリフォームシステム研究会 全国大会 in 沖縄」(2018/10/27)

- ・ 2018/09/04 協賛 西日本国際福祉機器展実行委員会さまより「PPC2018 第 20 回西日本国際福祉機器展」(2018/11/15～17)
- ・ 2018/10/19 後援 日本チェアスキー協会さまより「障害者スキー普及講習会 第 40 回日本チェアスキー大会」(2019/2/22～24)

第3号議案（専権等の報告）2018年度第2回業務執行報告（総務系）

水澤副会長（総務）より、各業務執行理事の業務執行状況（2018年7月22日～2018年10月27日）が報告された。
なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ 会長／事務局担当：沖川

- ・ 総会に向け代議員へ資料を発送した。
- ・ 会計処理の見直しに伴い、部門別・科目別の新コードでの会計処理を進めた。
- ・ 後援・協賛依頼への承認回答を行った。※（後援4件、協賛2件）への回答送付
- ・ 展示会出展における広報活動：H.C.R.2018の出展準備（ブース設営等）および出展
- ・ 入会申込者の承認を理事会に諮り専権として承認回答（2018.07.21～2018.08.28、2018.08.29～2018.10.19）

■ 総務統括／規則選挙担当：水澤

- ・ 総務系理事に対して、理事会・総会担当理事からの指示の元、10/17^日切として業務執行報告書の提出を求めた（2018年7月22日～2018年10月27日分）。
- ・ 2018年度定時社員総会における第6号議案「年会費の値上げ」の決議を受けて、定款施行細則第34条の改定を行った。

■ 総会・理事会担当：江原

- ・ 理事会開催
 - ・ 2018年度第1回（通算第49回）理事会議事録の取りまとめを行った。
 - ・ 2018年度第2回（通算第50回）理事会（臨時）開催のための準備を行った。
 - ・ 2018年度第2回（通算第50回）理事会（臨時）議事録の取りまとめを行った。
 - ・ 2018年度第3回（通算第51回）理事会催のための準備を行った。
- ・ 総会開催
 - ・ 総会資料および議決権行使書・委任状を作成し、総会の開催案内の手配を行った。
 - ・ 社員総会の進行表を作成し、議事進行の調整等を行った。
 - ・ 定時社員総会議事録の取りまとめを行った。

■ 財務担当：岡野

- ・ 法人会計の管理をおこなった。
- ・ 2018年度予算対応決算書を作成した。
- ・ 経理管理用新コード体系を作成した。
- ・ 借受金の内容の調査及び確認を行った。（途中経過報告）
 - ・ 任意団体から法人移行時に受けた借受金は数回にわたって処理されており、最終の処理が複雑化してしまっている。現在、過去10年間の洗い出し作業を行っているが、会計事務所のシステムの問題で一括処理ができないため、もう少し時間を要する。

■ 広報・渉外担当：杉本

- ・ 協会ホームページ
 - ・ 福祉機器コンテスト協賛企業のバナーを掲載した。
 - ・ 入会申込み用紙改定を行った。
 - ・ 第34回リハ工学カンファレンス用ページを設定した。
- ・ WEB管理委員会
 - ・ アクセス解析（7～9月分/別途報告）
 - ・ 会員ML配信（4件）、FreeML配信（11件）、会員ML変更（3件）新規（2件）、Facebook投稿（2件）を行った。
 - ・ SSL認証について検討した。

第4号議案（専権等の報告）2018年度第2回業務執行報告（事業系）

金井副会長（事業）より、各業務執行理事の業務執行状況（2018年7月22日～2018年10月27日）が報告された。
なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ カンファレンス担当：剣持・鈴木

- ・ 第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ

- ・ 8/29～31 に開催。参加者総数は 327 名。協会主催のプログラム実施。
- ・ 10/8 に実行委員会に参加し、反省点や引継ぎ事項に関する打ち合わせ
 - ・ 監査が来週に予定されていることから、次回理事会で議案を提出する予定
- ・ 第 34 回リハ工学カンファレンス in さっぽろ準備
 - ・ ポスター・チラシを作成し、協会 HP、カンファレンス、HCR などでも広報
- ・ 第 35 回リハ工学カンファレンス (2020 年) 準備
 - ・ 愛知県内での開催を中部支部長に打診、11 月開催も視野 (オリパラ関係)
- コンテスト担当：山形
 - ・ 第二次選考会の開催 (8/30：厚木文化会館)
 - ・ 受賞作品：機器開発・学生部門共 (最優秀賞 1 件、優秀賞 2 件、特別賞 1 件)
 - ・ 発表・作品展示・広報：HCR2018 協会ブース内 (10/10-12)
 - ・ 表彰式・感謝状贈呈式：10/12 14:00～15:15 於：東京ビッグサイト会議棟
- 協会誌担当：石濱・桂
 - ・ 協会誌 vol. 33 No. 3 特集「遊び 最近の動向」発刊。vol. 33 No. 4 「人工内耳」以降 (vol. 34 No. 1 「リハビリテーション工学の卒前教育の現状と課題(仮)」)、準備
 - ・ 第 3 回編集委員会の開催 (新横浜)。Web 会議の開催方法の検討
 - ・ チャットワークの利用制限：年間 7-8 万円必要
 - ・ 査読体制：7 月以降の新規投稿なし。
- 分科会・委員会担当：金井・中村・二瓶
 - ・ 分科会：SIG・支部
 - ・ 支部代表者会議 (8/30)、代表者会議 (8/31) の開催
 - ・ 協会誌 Vol133No4 に掲載する情報の集約、調整
 - ・ SIG・支部の位置づけや活性化に関する検討
 - ・ 専門委員会：災害対策委員会
 - ・ 北海道地震被災地支援、熊本地震被災地支援 (JASPA) に関する調整
 - ・ JRAT 会議への出席 (9/12 臨時戦略会議、10/12 研修企画委員会)
- 企画担当：中村・麩澤・金井
 - ・ 災害対策セミナーの開催に向け、災害対策委員長他と調整
 - ・ 第 8 回合同シンポジウムに向け中四国支部・全国頸髄損傷者連絡会と調整
 - ・ HCR2018 ブース出展・広報実施と出展社セミナーの開催・関連書籍の販売。
 - ・ 頸損解体新書 2020 作成に向けて関西支部及び全国頸髄損傷者連絡会と調整
 - ・ 収益事業の検討、研修企画委員会と情報交換
- 国際担当：桂・石濱
 - ・ RESKO Conference 2018 からの要請を受け、国リハ井上氏を推薦。
 - ・ CREATe-ASIA, AATPO の加盟分担金について確認中。

第 5 号議案 (専権等の報告) 10/27 理事会前日会議の報告

水澤副会長 (総務)、金井副会長 (業務) より、理事会前日 10 月 27 日 (土) 開催の理事会前日会議として以下の各種委員会および統括会議の報告がされた。

日時：2018 年 10 月 27 日 (土) 11:00～16:30

場所：横浜市スポーツ医科学センター 会議室

会議の種類：会議 1 11:00-12:20 災害対策委員会

会議 2 12:30-13:50 研修企画委員会

会議 3 14:15-15:35 Web 管理委員会

会議 4 15:40-16:30 統括会議

災害対策委員会

2018 年 10 月 27 日 11:00-12:20

出席：沖川、水澤、桂、金井、岡野、杉本、深野

現在計画されているのは

1. 災害対策セミナー：企画担当および九州支部

- ・これまでセミナーや講習会に対して企業協賛を募っていたが、今後は災害対策活動全体に対して協賛をお願いする
 - ・九州支部のみで実施するならあまり予算はかからない
 - ・テーマが「災害」であれば
 - ・12月理事会までに詳細を分科会担当から支部へ打診？
2. 北海道地震対応
- ・繁成氏が段ボール家具現地支援 (11/2, 3)
 - ・DoRAT 活動：いくつかリハ工に対するニーズはある
 - ・災害時の具体的な困りごとをユーザー視点でまとめる。それに対策法をくわえるマニュアル
 - ・マニュアルができればホームページで公開、賛助会員獲得へ (収益事業)
3. JRAT 活動
- ・来年度法人化 (拠出金増額) の予定

研修企画委員会

2018年10月27日 12:30-13:50

出席：金井、杉本、岡野、沖川、鈴木、江原、桂、深野

1 収益事業について

- ・現場のセラピスト等は思っているより知識がない。普通のセミナーでも十分に有効
⇒興味のない層に対して講習会をどうアプローチするのか？
 - ・デイサービス連合会にセミナーを打診
 - ・会場と人集めをしてくれるところと組む：単独では限界なので、どう組むか
- ・SIGなどを活用して講習会をパッケージ化
- ・ホームページで会員を派遣・講習会などを請け負う
 - ・当事者団体等はセミナーの際、講師などの依頼に困っている。業者に頼むと自分の商品しか紹介しない。専門に研究している人の話を聞くと、それをもとに判断できる。
 - ・基礎講習：基礎中の基礎すら知らない (当事者も専門職も)
 - ・情報にたどり着けていない
 - ・福祉用具出張講義：カリキュラム
市場調査をしっかりとしてから動いたほうがよい
 - ・当事者向けに、復興支援講習会的な講習会をしていく

WEB管理委員会

2018年10月27日 14:15-15:35

出席：水澤、鈴木、杉本

1. SIG・支部代表者会議報告

- ・HP活用について
SIG、支部共に特に問題なく運用可能
- ・協会本体のスケジュールについて
理事会までのスケジュールが分からないといった意見あり
→分科会担当理事からのアナウンスを改善してもらうこととする
- ・共通名刺フォーマット作成
SIG、支部活動 (本体含め) の際に名刺を作成したい。共通のフォーマットを作ってはどうか。
→下記SIGの扱いが確定してから再度意見収集し、決定する
- ・協力SIGの名称表記について
(一社) を付ける・付けないで判別するのか？
→理事会で検討することに。
- ・自助具SIGオリジナル展示会セット
展示会セットを作っているので貸出し可能である。HPに告知するか。
→各SIGより依頼があれば掲載は可能、特別こちらからアクションはしない

2. MLについて

- ・リストの整理 (タスク化する)
- ・メールアドレスの共有
→WEBメールの運用

- ・理事のみが使用
- ・協会活動のやり取りのみに使用する
- ・上記条件で使用希望者を確認しアドレス取得する
- ・アドレス ID と Pass を共有する

3. SSL 認証

- ・現状のまま認証取得
- ・メールと HP とサーバーを分ける
→ある程度方向性を決めましょう
- ・事務局の負担軽減のためセミナー申込みフォームを活用することを目指したい
- *申込みフォームは外部サービスを利用（適切なものを検討・選択する）
- *協会 HP サーバー内にはデータを残さないため最低ランクの SSL 認証を取得する
- *現状のメール、HP サーバーは継続する
- *カンファレンスの HP についてはカンファレンス担当理事がある程度方向性を決めてもらう
(U-MIN のサービス利用は継続する方針)

4. HP 更新作業手順

- ・作業、校正者等、手順と役割の確認
→事業報告者の責任のもと校正を行い、完成データを PDF で提出
HP 更新作業者がそれをうけて報告書を掲示する

5. その他

- ・HP のアイコン
あつぎカンファの最終報告が完了するまでアイコンは利用
報告完了後、次回カンファ（さっぽろ）のアイコンに変更する
- ・カンファあつぎの掲示
現在隠れてしまっているのを再掲する
- ・国際連携推進委員会
構成メンバー表作成（桂理事へ依頼）
英語ページにも掲載する
- ・Dropbox の利用
無料容量の上限に近づいているため、WEB 管理委員会でもフォルダを作ることは現状厳しいか
いつまでデータを保存するか、など協会全体としてもルール化が必要

統括会議

2018 年 10 月 27 日 15:40-16:30

出席：沖川、水澤、桂、金井、岡野、杉本、麩澤、鈴木、山形、江原、深野

2018 年度実施事業における懸案事項の整理・確認

1. 定時社員総会における決議事項、質問事項に対する対応について

- 「会費値上げについての会員へのお知らせ」について
→協会誌（2 月号）に掲載 ※HP へは先行して掲載
文案は、財務担当理事、会長が作成

- 質問事項については対応済み

2. 「SIG の位置づけ」について

現状の「協会内 SIG」、「外部協力 SIG」という位置づけが、協会事業運営ならびに SIG 活動の円滑な遂行の妨げになっている。

- 「論点」は以下の 2 点に集約される。

① 非協会会員である SIG 会員への対応

② SIG の資産、SIG 会費の取り扱い

→理事会後調整会議 第 4 号議案「SIG の位置づけに関する検討について」にて協議する

第 6 号議案（専権等の報告）災害対策委員会の委員構成の変更について

分科会・専門委員会担当の金井副会長、二瓶理事より、災害対策委員会より構成員の変更届があったことが報告された。

○委員変更理由

設立委員の逝去、および熊本地震やその後に発災した災害対応、JRAT 活動を行う上で、委員の追加が必要となったため。

○変更内容（下線が変更のあった委員）

変更前	変更後
○委員長 沖川 悦三	○委員長 沖川 悦三
○委員 石濱 裕規	○委員 石濱 裕規
吉田 泰三	岩崎 満男
岩崎 満男	繁成 剛
	金井 謙介
	水澤 二郎
	山形 茂生
	岡野 善記
	深野 栄子

- ・ 協会誌編集委員会と Web 管理委員会の委員会構成は HP に掲載されている。災害対策委員会と国際連携委員会についても同様に委員会構成を掲載する。

第7号議案（専権等の報告）第8回全国頸髄損傷者連絡会・一般社団法人日本リハビリテーション工学協会合同シンポジウム開催について

企画担当の麩澤理事、中村理事より、第1回理事会（2018年7月22日）理事会にて承認された第8回合同シンポジウムについて開催内容詳細が報告された。

【事業名】第8回 合同シンポジウム

開催テーマ：障害当事者こそが変える！人手不足の介護現場

～だれのため？みんなのため！みんなで考えよう！～

開催内容：今後の福祉人材の不足を考え、障害当事者自らが、福祉用具・介護機器を学び活用を訴える事で、福祉現場での福祉用具・介護機器に普及や活用を促す機会としたい。

開催日時：2019年4月27日（土）10：30～17：00

開催場所：かがわ総合リハビリテーションセンター

主催：一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 全国頸髄損傷者連絡会 一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク

実行委員会：日本リハビリテーション工学協会中四国支部（支部長：下元佳子氏）及び四国エリアの各全国頸髄損傷者連絡会、ナチュラルハートフルケアネットワークにより組織

参加者数（見込）：約100人

開催に向けて、実行委員会を組織し実施する。

イベントとして下記を予定。なお、最新の福祉機器や介護機器の展示体験会を併催予定。

講演 福祉サービスの現状とポスト2025年問題に向けた課題（下元）

シンポジウム セッション①

- ・自分らしい生活のサポートを受け続けるために
- ・福祉用具の活用と導入への課題
- ・在宅サービス事業所の現状

セッション②

- ・セッション①の登壇者と専門家等を交えた、ディスカッション。

- ・ 内容に関しては、ナチュラルハートフルケアネットワークで掲げている、抱え上げない介護を頸損者としても重要と考え、企画を進めている。
- ・ 承認され次第、協会誌における広報を行う。2月1日発行号の協会誌には全内容広報できる予定である。開催時期が10連休にあたるため早めの広報が好ましい。
- ・ 10連休中に「瀬戸内トリエンナーレ」も開催予定のようなので、宿泊手配等も早めがよいであろう。
- ・ 交通機関の手配等については今後検討して必要であれば、送迎バス等手配したい。

第8号議案（決議）全国頸髄損傷者連絡会と協働による頸損解体新書2020(仮)の作成について

企画担当の中村理事、麩澤理事より、前回の頸損解体新書2010の発行よりまもなく10年が経過することから、この10年間の変化を明らかにし、今後の頸損者の生活の参考にしていただくと共に、福祉用具の普及や開発の参考となる資料の発信を目的に頸損解体新書2020の発行が必要であると考え、全国頸髄損傷者連絡会と当協会の協働による頸損解体新書2020(仮)の作成したい旨提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

なお、2019年度に予算化し事業実施を考えているが、全国頸髄損傷者連絡会及び当協会のみ資金では前回同様の実施は困難であると思われることから、一般会計年度の2019年度事業にかかる競争的資金の獲得を目指したい。

承認13、非承認0（会長除く）

- ・ 頸損解体新書は前回作成した2010年より約10年が経過しており、その後の機器や社会情勢の変化を踏まえたアンケート調査と主観的な事例報告により実態をあきらかにし、頸損解体新書2020(仮)として発信を行っていきたい。
- ・ すでに全国頸髄損傷者連絡会では頸損解体新書2020(仮)の作成について承認を得ている。
- ・ 現在当協会関西支部のメンバーを中心に実行委員会の立ち上げ準備を開始している。
- ・ 全国頸髄損傷者連絡会と当協会の金銭的または人的な負担及び頒布等にかかる収益の配分については、別途改めて協議し決定する。
- ・ 競争的資金の獲得ができない場合は、頒布の方法や調査の範囲の縮小等の上、2団体で拠出可能な資金の範囲で実施する。
- ・ 予算を伴う協会の事業としては実質的には2019年度の事業として協会内の予算を獲得の上実施することとしたい。（他の事業のバランスから協会の経済的負担は20-30万円程度で検討）
- ・ 電子的手段でのアンケート実施で郵送料は軽減できる。紙媒体ではなくデジタル版での発行で経費削減ができ各団体20~30万円負担で作製可能なのではないかと考えている。
- ・ 著作権については、実行委員会で協議する。
- ・ 会員は無償で、非会員はPDF版でも有償とした場合、どこの収入になるかをはっきりさせておく必要がある。

第9号議案（決議）災害対策委員会の期間延長について

分科会・専門委員会担当の金井副会長、二瓶理事より、災害対策委員会より2年間の設置期間延長の申請が提出された旨が報告され、審議の結果、満場一致で承認された。

○延長理由：平成29年（2017年）九州北部豪雨、平成30年（2018年）7月豪雨、平成30年（2018年）北海道胆振東部地震と立て続けに大規模災害が発生し、各地に多くの被害をもたらした。東日本大震災や熊本地震に対する対応に加え、それらへの対応が求められている。また、JRATへ加盟したことによる活動を継続する必要があるため災害対策委員会の期間延長をお願いしたい。

○延長期間：2018年7月1日より、2020年6月30日（遡って適用）

承認13、非承認0（会長除く）

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2018（平成30）年度第3回（通算第51回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（11時57分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2018年10月28日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成30年度第3回理事会

議長 沖川悦三

議事録署名人 江原喜人

議事録署名人 岡野善記